



お訪ねした会社

社名: ケイエス自動車株式会社
住所: 長野県長野市稲里町

クルマの整備を通じて、地域の皆さんの暮らしを支えている会社だよ。スタッフさんたちはみんな優しいから、クルマについて気になることがあれば気軽に立ち寄れるんだ。なんと、1年当たり約2,500台ものクルマを点検・整備しているんだって!

現地で学ぼう! クルマのリサイクル

vol.4
整備編

メンテナンスはプロにお任せ!



自動車リサイクル博士

人を乗せて走る乗用車やバス、ものを運ぶトラック、命を救う救急車や消防車。私たちの身の回りで活躍しているクルマたちは、使い終わった後も社会の役に立っているって知ってた? 実は、そのほとんどがリサイクルされているんだよ! このクルマのリサイクルシリーズ(全7回)では、クルマが大切に使用されて資源に戻るまでの過程を紹介しているよ。

今回紹介するのはココ!



ポイント2

使い方に合わせて「整備」

点検で不具合が見つかったら、整備士さんが塗装や部品交換などをしてクルマをベストな状態に整えてくれるよ。ケイエス自動車がある長野県では雪がたくさん降るため、冬になると道路に雪を解かすための薬剤がまかれるんだ。この薬剤に含まれる塩分が金属をさびさせるから、冬の間はクルマがさびやすくなってしまうんだって。だから、整備士さんがクルマの状態を見て、必要であればさび止め剤を塗って車体を保護することもあるよ。また、普通のタイヤから、雪が積もったり凍ったりした路面でも



さび止め剤を塗るときは細かいところまで丁寧に!

安全に走れる雪用タイヤへの交換も整備工場で行っているんだ。

ポイント3

使う人もうれしい「リサイクル部品」

整備工場では、クルマの部品を交換する際には、V.O.R.の解体工場編でも登場した「リサイクル部品」が活躍するよ。リサイクル部品とは、使い終わったクルマから取り外された、まだ使える部品のことを、中でも部品を取り外してきれいにしたただけで使えるものを「リユース部品」・部品

の一部を新品に交換して組み立て直したものを「リビルト部品」と呼ぶよ。リユース部品は新品の半分の価格で入ることができるから、お客さんは修理の費用を安く抑えることができる。しかも、ゴミを減らして環境を保護することにもつながるんだ!



ライトが壊れたクルマをリサイクル部品で修理しているよ!



どんな部品を使って修理するかはお客さんと相談して決めています!



ポイント1

皆のためにしっかり「点検」

クルマも他の機械と同じように、使っているうちに部品が少しずつ消耗して、うまく動かなくなることがある。そのまま乗り続けたり、事故につながってしまうかもしれないからね。しかも、まだ使えたはずのクルマが事故で壊れたら、資源がもったいない! だから、整備工場では定期的にクルマを点検・整備してもらうのはとても大切なんだ。

整備工場には国家資格を持った整備士さんたちがいて、豊富な知識と経験を活かしてクルマの状態をチェックしてくれるよ。整備士さん

私たちは、目で見たら、音を聞いたりして異常を探すのはもちろん、コンピュータも使ってクルマの目に見えない部分にも問題がないか調べるんだ。

整備士さんにお話を聞くと、最近のクルマは機能や装備がどんどん進化しているから、私たちが常に最新の知識を学び続ける必要がある。大変ですが、クルマに乗り続ける人を守るために責任を持って取り組んでいます。整備士さんたちはみんなクルマが大好きだから、頑張れるんです」と教えてくれたよ。



まずは人の目と耳で細部まで確認するよ



コンピュータを使った目に見えない部分の点検も大切!

博士からの挑戦状!! クルマのリサイクルクイズ

リサイクル部品の中でも中身の一部を新品に交換して再び組み立てたものを何という?

〇〇〇〇部品

答えはポイント3に書いてあるよ!



公益財団法人自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

詳しくはこちらから

クルマのリサイクル

検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

次回はオークション編!



今回のまとめ

長く安全にクルマに乗り続けるためには、法律で決められたタイミングや、クルマを使って「何かおかしいな」と思ったときに、整備工場に行って点検・整備を受けることが必要なんだ。また、修理の際にリサイクル部品を使うと、クルマに乗る人がお金を節約できるだけでなく、ゴミを減らして資源を上手に活用することにもつながるんだね。